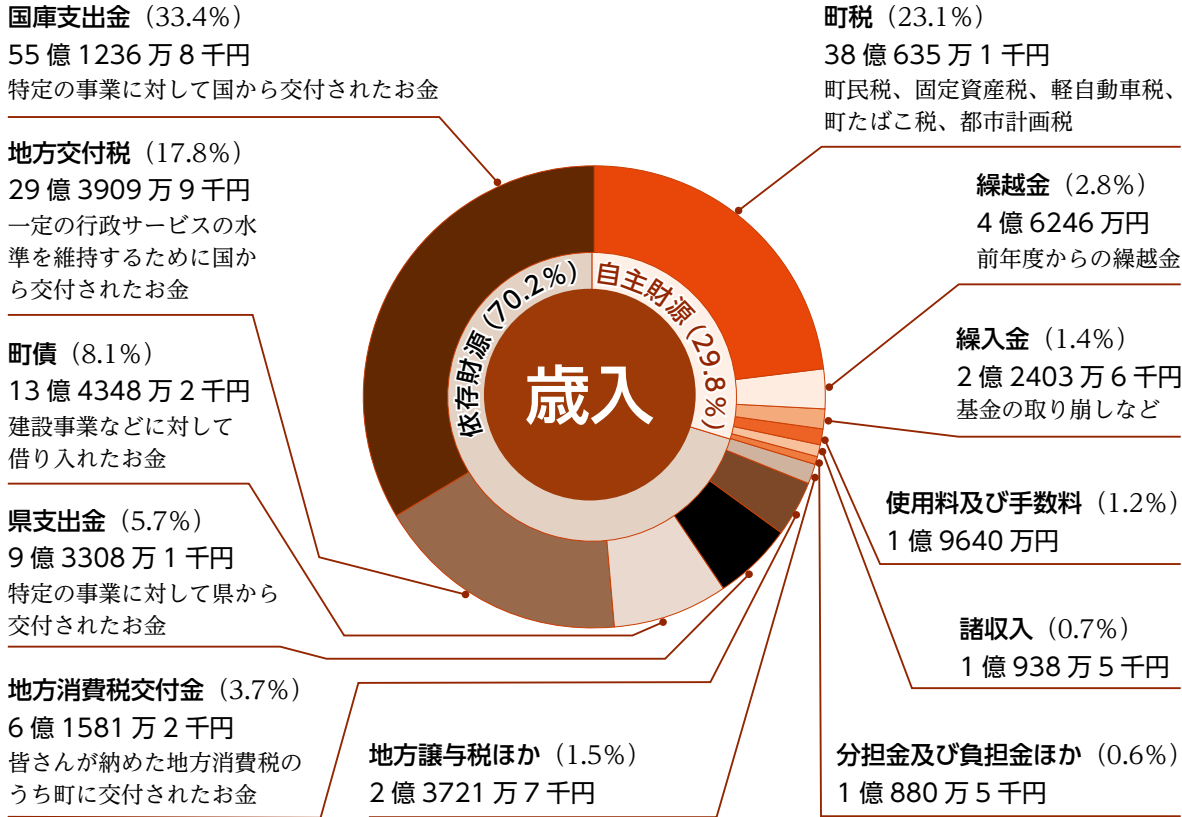


歳入 164億8849万6千円



令和2年度会計別決算

一般会計・特別会計

会計名	歳入額	歳出額	差引額	
一般会計	164億8849万6千円	159億7239万6千円	5億1610万円	
特別会計	国民健康保険特別会計	35億7327万円	30億1503万5千円	5億5823万5千円
	後期高齢者医療特別会計	5億5557万5千円	5億4339万6千円	1217万9千円
	介護保険特別会計	30億4828万7千円	30億190万2千円	4638万5千円
	磯城郡介護認定審査会共同設置特別会計	1677万1千円	1347万7千円	329万4千円

企業会計 (▲はマイナスを表す)

会計名	収入額	支出額	差引額	
水道事業会計	収益的収入及び支出	9億1026万3千円	8億6956万9千円	4069万4千円
	資本的収入及び支出	1億4282万7千円	2億6594万9千円	▲1億2312万2千円
下水道事業会計	収益的収入及び支出	10億7826万1千円	10億6434万2千円	1391万9千円
	資本的収入及び支出	5億9252万2千円	8億8731万7千円	▲2億9479万5千円

令和2年度の決算が、町議会第3回定例会で認定されました。皆さんに納めていただいた大切な税金などが住みよいまちづくりにつながるように使われたのか、その概要を紹介します。

性質別歳出

補助費等 (32.9%)
52億4719万1千円
一部事務組合への負担金や各種団体補助、特別定額給付金などに

扶助費 (13.6%)
21億7197万3千円
高齢者、障がい者、児童への援助などに

人件費 (13.5%)
21億4912万9千円
職員の給与、議員報酬などに

物件費 (12.7%)
20億3139万円
委託料、光熱水費、事務用品などの消費的な支出に

普通建設事業 (11.1%)
17億6934万3千円
道路や施設の建設などに

公債費 (8.3%)
13億2718万6千円
町債の返済などに

繰出金 (7.0%)
11億2530万9千円
他会計への支出に

積立金など (0.9%)
1億5087万5千円

歳出合計

159億7239万6千円

歳出 159億7239万6千円

議会費 (0.8%)
1億2806万2千円
議会の運営に

商工費 (1.0%)
1億5620万3千円
商工業、観光の振興などに

農林水産業費 (1.1%)
1億7731万9千円
農業振興、生産基盤整備などに

消防費 (3.8%)
6億1287万7千円
消防、防災などに

衛生費 (7.7%)
12億3572万3千円
健康づくり、ごみ・し尿処理などに

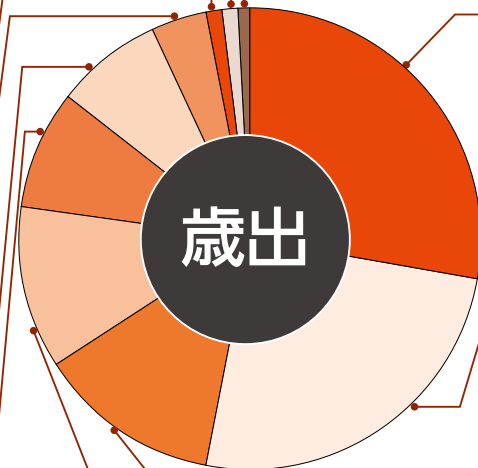
公債費 (8.3%)
13億2718万6千円
町債の返済などに

総務費 (28.0%)
44億6488万3千円
庁舎管理、徴税、戸籍、選挙、統計などに

民生費 (25.1%)
40億784万2千円
高齢者、障がい者、児童の福祉の増進、人権啓発などに

土木費 (12.9%)
20億5564万7千円
道路・河川整備、都市計画、住宅などに

教育費 (11.3%)
18億665万4千円
学校教育、生涯教育、文化・スポーツ振興などに



一般会計

実質収支は

4億9933万8千円の黒字

一般会計は、歳入歳出差引額が5億1610万円となり、翌年度に繰り越すべき財源1676万2千円を除くと、実質的な黒字は4億9933万8千円となりました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に対する家計への支援として特別定額給付金の支給などを行ったことから、歳入では国庫支出金が増加し、歳入では約39億7000万円増加し、歳出でも総務費が約32億4400万円増加しました。また、道路整備、内水対策などの事業費が増加したことから、土木費が約5億2600万円増加しました。

特別会計

4つの会計決算はすべて黒字

特別会計とは、特定の事業を行うための経費を一般会計と区別する必要がある場合に設置する会計で、4つの特別会計の決算額は右表のとおりです。

企業会計

水道事業・下水道事業

ともに黒字

独立採算で運営を行う公営企業に水道事業と下水道事業があります。決算額は右表のとおりです。

水道事業では、収益的収支は損益計算による当年度純利益が3430万2千円生じ黒字決算となりました。なお、資本的収支は1億3563万4千円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金や積立金などで補填しました。

下水道事業では、収益的収支は損益計算による当年度純利益が1412万2千円生じ黒字決算となりました。なお、資本的収支は2億9479万5千円の不足が生じたため、過年度分損益勘定留保資金などで補填しました。

まちの将来像

～子どもから高齢者まで 誰もがいきいきとした暮らしを楽しむまち たわらもと～
の実現に向けて

令和2年度実施事業の紹介

令和2年度に行った
事業の一部を、第4次
総合計画の6つの基本
目標ごとに紹介します。

1 子育ての願いをかなえるまちづくり

GIGAスクール構想構築事業

1億8520万3千円

小・中学校の児童生徒の学びや創造性を育むため、1人1台のタブレット端末や校内の高速無線LANなどの整備を行いました。

幼稚園園舎耐震補強等事業

1億2399万7千円

地震による建築物の倒壊などの被害から園児を守るため、認定こども園田原本幼稚園と北幼稚園に耐震補強などの工事を実施しました。

2 健康で安心な暮らしを支えるまちづくり

たわらもとヘルスケアプロジェクト事業
5795万3千円

高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するために「スマー

トウエルネスシティ」の理念のもと「健康ポイント事業」と「健康運動教室事業」を実施しました。



地域支援事業（高齢者施策）

1億5565万9千円

高齢者の皆さんが要介護・要支援にならないよう介護予防に向けた取り組みを行うとともに、要介護状態となった場合でも可能な限り地域で自立した日常生活を送れるよう支援を行いました。

3 潤いや喜びを与える学びとスポーツのまちづくり

図書館事業

6803万1千円

図書館の管理・運営のほか、図書
の充実などを行いました。

体育施設管理事業

6552万1千円

体育施設の維持管理や、中央体育館
の屋外トイレ改修などを行いました。

4 安心で快適な暮らしを支えるまちづくり

一般下水路事業

5億8040万円

内水被害を減らすための治水対策として、社会福祉協議会駐車場の貯留施設整備工事が完了したほか、寺川東地区などの雨水調整池整備にかかる調査・設計、西竹田地区の河川護岸整備工事などを行いました。



社会福祉協議会駐車場地下貯留施設

道路新設改良事業

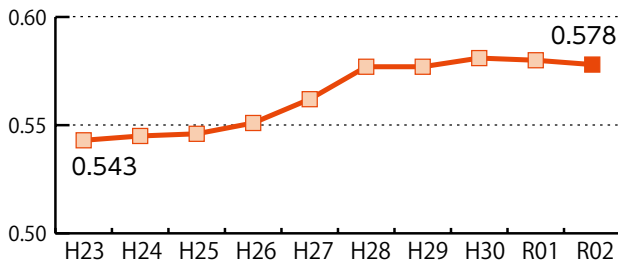
3億9893万5千円

国道24号、国道24号バイパス線、主要県道などの近隣の地方道や広域道路ネットワークに連携した機能的な道路網の構築を図るため、唐古西代線や西竹田満田線などの道路改良工事を行いました。また、十六面・西竹田地区における工業ゾーン創出のため周辺道路整備などを行いました。

指標でみる財政状況

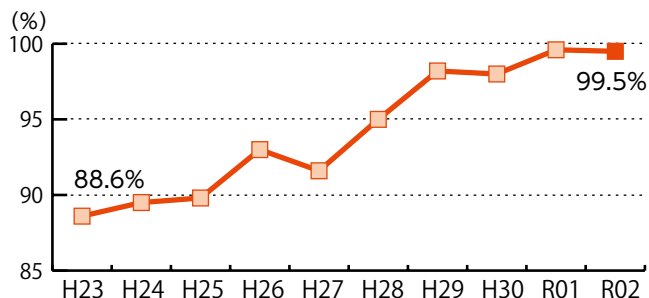
財政力指数 0.578

標準的な行政経費に必要な財源をどれくらい自力で調達できるかを表すもので、指数が高いほど財源に余裕があることを示します。



経常収支比率 99.5%

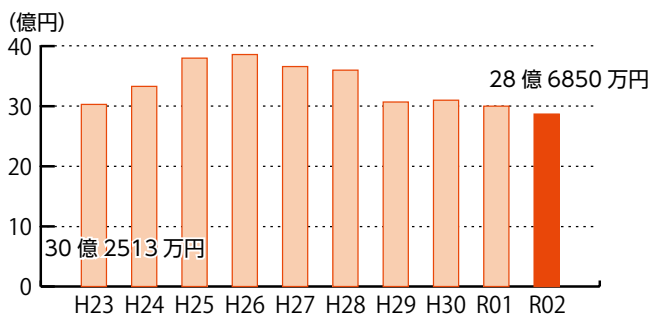
財政構造の弾力性を示す指標で、町税などの経常的な収入が人件費や公債費などの経常経費にどれくらい充てられているかを表しています。令和2年度は、地方税や地方消費税交付金など経常的な収入が増加したため、前年度に比べ0.1ポイント低下しました。



基金残高 28億6850万9千円

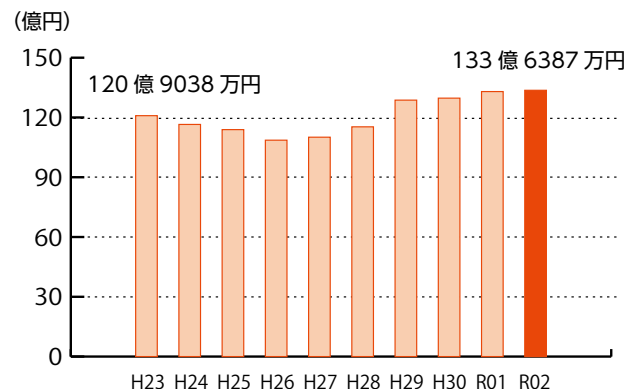
普通会計には、純粋な貯蓄といえる財政調整基金や減債基金、特定目的のためのふるさと応援基金、森林環境整備促進基金、公共施設等整備基金、福祉基金があります。

令和2年度は、町債の返済のため減債基金を1億3000万円取り崩したことなどから、基金全体では前年度に比べ約1億5000万円減少しました。



町債残高 133億6387万2千円

普通会計の町債残高は平成16年度をピークに毎年減少してきましたが、新清掃工場などの大型事業の実施に伴い平成27年度に増加に転じ、令和2年度についても小学校の改修や道路の整備、内水対策などに町債を活用したことから、前年度に比べ約6400万円増加しました。



5 賑わいと活力あふれるまちづくり
農業基盤対策事業
7573万2千円

良好な田園の維持と効率的な農業の推進を図るため、農道や水路などの整備や、井堰の改修工事、土地改良事業に係る自治会への補助などを行いました。
地域振興券発行事業
8430万1千円

生活支援と地域内消費の喚起による町内事業者の経営支援を目的に、全住民に対して振興券を配布しました。

6 住民とともに実現するまちづくり
ふるさと応援寄附金推進事業
1663万2千円

町のPRや地域事業者の販路拡大など、地域産業の活性化に取り組みました。
特別定額給付金事業
31億8609万8千円

新型コロナウイルス感染症に対する家計への支援として、全住民に一律10万円の特別定額給付金を支給しました。